

大好きなまち「長岡」の元気を回復する 長岡発地方創生へ

市は、10年・20年先のまちの活力を維持し、人口減少社会に対応するため、まちづくりの方向性を示す第2期総合戦略を令和2年3月に策定しました。

将来にわたって元気で若々しいまちであり続けるために、今後5年間にすべきことを「第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン～長岡リジュベネーション（長岡若返り戦略）～」にまとめました。

第2期総合戦略では、引き続き、将来を担う「若者」を地方創生の主役に据えました。若者が持っているさまざまな個性と力を活かし、伸ばし、いきいきと活躍するために、その「志」を大切に、長岡人の心に息づく「米百俵の精神」で、10年20年先の未来を担う次の世代に投資する政策を進めます。長岡に住み続ける若者、戻ってくる若者、新たに移住してくる若者をしっかりと確保し、人口減少を抑制し、愛着と誇りの持てる「ふるさと長岡」をつくることを目指します。

若者はもちろん経験豊かな世代も含め、全市民協働で積極的に進めていきます。

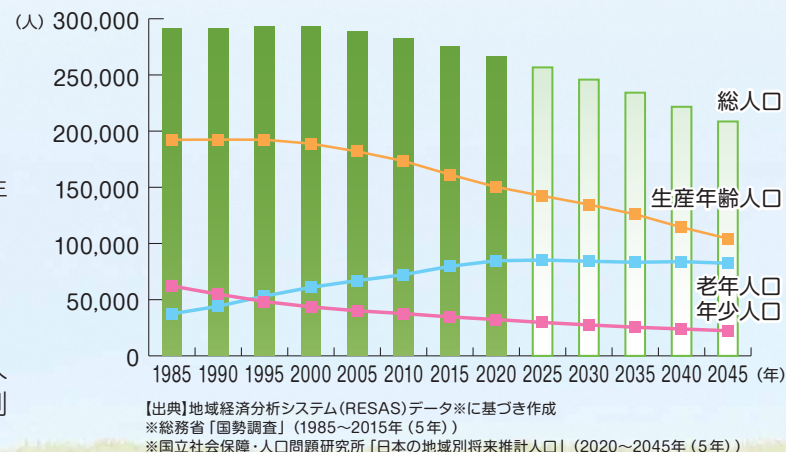
長岡市の人口の将来展望



待ったなし！これが長岡の現実です

年齢3区分別人口の分析

- 年少人口（0～14歳）は、減少傾向。1990年代後半から老年人口を下回り続けています。
- 生産年齢人口（15～64歳）は1990年代以降、減少傾向が続いています。
- 老年人口（65歳以上）は、今後、生産年齢人口が順次老年期に入ること、全体に占める割合が増加し続けることが見込まれています。



第2期

長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～長岡リジュベネーション（長岡若返り戦略）～

リジュベネーション（rejuvenation）…元気回復、若返り



第2期 長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

長岡版イノベーションの推進

- ・変化の波を的確にとらえ、従前にとられず市民生活の向上と産業の活性化を実現します。
- ・Society5.0*、SDGs*をはじめとした大きな変化をチャンスととらえ、市政のあらゆる分野に先端技術や新たな発想を取り入れ、人材育成と未来への投資を行う「新しい米百俵」の実現に向けて、全力で取り組みます。

産業の振興と起業の促進

人材の育成

市民生活の向上

行政事務の効率化

共通の視点

共通の視点

戦略

戦略

主な施策

主な施策

戦略 1 若者定着

若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりを進めます。

- 若者のまちづくりへの参画や、アイデアの実現など、若者が自ら考え、取り組む活動をサポート
- 学びと交流、長岡版イノベーションを推進する拠点「米百俵プレイス（仮称）人づくり・学び・交流エリア」の整備を進め、将来を担う人材を育成
- 教育機関や産業界と連携し、長岡で学び・働き・暮らすことの魅力を伝えることで、若者定着を促進
- 男女が出会う機会の提供や支援を行い、長岡で家庭を築き、暮らし続けたいと思う若者を増加
- 長岡を離れたり市外に住む若者に対し、長岡で暮らしたいと思うような情報を発信し、Uターン・Iターンを促進



ながおか若者会議

戦略 2 子育て

子育て環境を充実させ、子どもや家庭に寄り添った切れ目のない支援をすることで、長岡で子どもを産み育てたいと思うまちづくりを進めます。

- 長岡オリジナルの“保育士のいる屋根付き公園”「子育ての駅」などで、子育てを積極的に支援
- 安心して出産、子育てができるよう支援する長岡版「ネウボラ」※を展開
- 事業所内保育や放課後児童クラブなど、企業・地域・多世代が連携し、市民みんなで子育てをする家庭を支援
- 働きやすい職場づくりを推進し、子育てを応援する企業を増加
- 子どもと保護者の食育と運動への関心を高め、子育て段階から健康な食生活の基礎づくりを推進



産後デイケア一む「ままりら」

戦略 3 教育

米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰って来たい人、未来の長岡を背負って立つ人を育てます。

- 地域力・市民力を活かしたオール長岡でふるさと学習や伝統芸能、まつりなどを伝承
- 熱中、感動、本物体験の場の提供を充実し、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、地域や自然を愛する心を育成
- いじめや不登校、特別支援教育などに適切に対応した、安心して学べる教育環境の構築
- 子どもたちが安心安全にスポーツに取り組める環境を整備し、心身ともに健全な人材の育成を推進
- 英語教育や国際理解教育を充実し、世界に通じる人材を育成



プログラミング教室

戦略 4 働く

若者が魅力を感じて働きたくなるように、頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進します。

- 課題解決の経験から起業マインドを醸成し、起業支援エコシステム※を構築
- 産官学金の連携と各種支援制度により、企業の新技術・新製品の開発や新分野進出などを推進
- 地域企業のグローバル化に向けて、高度な技術を持つ外国人材が活躍できる環境づくりを推進
- 世界に通用する人材を育成するため、AIプログラミング教室やロボコン※活動など、子どもや学生が学ぶ機会を増加
- 4大学1高専や産業支援機関との連携体制など、長岡ならではの強み・魅力をPRすることで企業誘致を推進
- 長岡産農産品のブランド化や6次産業化※、経営の効率化の推進により、担い手の育成・確保や若者が農林水産業を続けられる環境整備を推進



NaDeC BASE での起業家塾

戦略 5 交流・連携

豊かな地域資源をさらに磨き上げ、広く情報発信することで「長岡ファン」を増やすとともに、広域連携や、国際交流により、交流人口・関係人口を増やします。

- 近隣市町村が持つ様々な地域資源を結集し、各関係機関とも連携しながら中越地域全体の交流人口を増加
- 海外の姉妹都市・友好都市とのさらなる相互交流を促進
- 地域の宝を市民と一緒に磨き上げ、魅力を強化し、情報発信することで、長岡に興味を持ち、訪れる人を増加
- 訪日外国人客を含む観光客の満足度向上のため、観光施設の受入体制整備を推進
- ふるさと納税やクラウドファンディング※などを活用し、長岡ファンのすそ野を広げる活動を推進



与板★中川清兵衛記念 BBQビール園

戦略 6 安全安心

将来にわたって住み続けたいと思えるような、誰もが充実し、安全で安心して暮らすことのできる、快適なまちづくりを進めます。

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために、医療・介護等の関係者の連携を推進し、支援体制を充実
- 健康づくりに関心を持ち、地域の中で健康を支えるしくみを構築し、健康寿命を延伸
- 災害で得た教訓を活かし、防災体制の強化、災害に強いまちづくりを推進
- 既存インフラ、公共建築物の計画的な改修・修繕による長寿命化と、最適な規模や施設配置を検討
- 地域の実情に合った公共交通の維持と、誰もが利用しやすい公共交通の整備を促進
- 誰もが安心して利用できるコミュニティ活動の拠点や環境づくりを推進し、地域を活性化



ハッピー体操

※Society 5.0……先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会。
 ※長岡版ネウボラ……市独自の子育ての駅や、子育てコンシェルジュ、子育てサポーター等と連携し、妊娠期から就学前にかけて切れ目なく家族を支援。
 ※ロボコン……ロボットの設計、制作、制御に伴う技術を競うコンテスト。
 ※クラウドファンディング……インターネットを活用し、全国あるいは世界中の人から資金を集める手段のこと。

※SDGs……持続可能な世界を実現するための国際目標。17のゴール・169のターゲットで構成。
 ※起業支援エコシステム……起業家が自律的、連続的に生み出される仕組み。
 ※6次産業化……1次産業の農林漁業と、2次産業の製造業、3次産業の小売業等の一体的な推進を図り、新たな付加価値を生み出す取り組み。